

5月・6月合併号



毎月1日発行になります

友の会だより

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町5-391-3
TEL 043-276-4817・FAX 043-276-4828
メールアドレス chiba.kensei.tomo@gmail.com

千葉健生病院ホームページはこちら

ちばけんせいびょういん

検索



私たちは、人権を尊重し安全、安心、信頼納得の医療・介護をめざします。



発行 千葉健生病院健康友の会

千葉健生病院健康友の会 2022年度 定期総会

定期総会は、6月6日(月)感染拡大防止のため、幹事出席とさせていただきます。議案へのご意見は、友の会事務局までお寄せください。

7月の参議院選挙は、平和・いのち・暮らしを守る大事な選挙になります。

会長 南雲 一吉



この1年間の中で、これほど命の尊厳を実感した年はありません。コロナ禍の中で不自由な生活が2年5ヶ月経過、日本では3万人以上の方の命が失われました。必要な検査も隔離もされず、また医療も受けられず「自宅療養」などという曖昧な表現で、命が失われていったのです。

日本の保健医療の水準は、平均寿命や乳児死亡率などの指標で、かつては「世界一」と言われるほど高く評価されてきました。しかし、90年代から自民党政権が進めてきた保健所の統廃合や公的研究機関の人員削減、感染症病床や急性期病床の削減などで、国民のいのちを守る医療資源の縮小が進行していたことが、パンデミックの被害を拡大したのです。



2月24日、ロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始し、空港や公共施設への空爆のみならず、原発や産科小児科病院への攻撃といった暴挙により、多くの民間人の犠牲(2万人以上)が出ています。これらの侵略行為は国連憲章と国際法の原則に明らかに違反する行為であり、断じて許されるものではありません。

日本でも憲法9条を変えて戦争ができる国づくりが加速しています。昨年の総選挙の結果、自民党・公明党に日本維新の会、国民民主党も加わり、改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2を超えました。自民党の改憲の最大のねらいは、憲法9条に自衛隊を明記し、文字通り自衛隊を「戦争する軍隊」に変えることです。世界から日本に求められていることは、憲法9条を持つ被爆国日本が核兵器禁止条約の旗を高く掲げ、積極的外交努力を惜しまず、平和と地球温暖化問題に全力を注ぐべきだと思います。

友の会アラカルト

●コロナ禍2年目の中、友の会活動は「な」が出来て、なになが出来ないか」を病院と相談し活動しました。残念ながら、長年愛されてきた「ふれあい昼食会」は公民館の利用規制と食事の提供にストップがかかり継続できなくなりました。

●「友の会に行けばなにかある!」「友の会に足を運ぶことが元気の秘訣」という嬉しい言葉をいただきました。月に一回は学習会や、お楽しみ企画を開催しました。また、「シアター友の会」と題し毎月「男はつらいよ」を第一作から上映しています。

●「高齢者訪問電話かけ」は、友の会会員80歳以上の方約1200人にお電話しました。電話がつながると、とても喜んでくださる方が多くいらっしゃいました。電話をかけたこちらが励まされ、元気をいただくこともありました。

●「おやくにたてれば市」は11月で1年目を迎えました。会員のみならず、品物の提供があり継続していただいています。11月には、健生

●「おやくにたてれば市」は11月で1年目を迎えました。会員のみならず、品物の提供があり継続していただいています。11月には、健生

●「おやくにたてれば市」は11月で1年目を迎えました。会員のみならず、品物の提供があり継続していただいています。11月には、健生

2022年度 活動方針(案) いのちと暮らしを大切に 魅力ある友の会づくり

「安心して住み続けられるまち」をめざし、地域に根ざした友の会活動をすすめます。コロナ禍での活動に知恵を出し合い、つながりを大切にして活動を広げていきます。楽しい友の会、頼られる友の会を病院と協力して作ります。

1. 新会員を増やし、友の会を大きくします。会員の声に耳を傾け、要求にこたえられる友の会を作ります。友の会活動の世話人を広く呼びかけます。
2. 年1回の健康診断を呼びかけ、地域の健康づくりに取り組みます。
3. 友の会活動、行事に参加しやすい環境を整え、居場所づくりに力を注ぎます。
4. 高齢者訪問、地域訪問等を工夫して行い、つながりを大切にします。
5. サークル活動、ボランティア活動、ブロック・支部の活動を活発にすすめます。
6. 社会保障の充実、平和の課題に取り組みます。
7. 民医連綱領と運動方針を学び、友の会活動に活かします。
8. 会員の声を病院に届け、地域に求められる病院づくりを協力して進めていきます。

鼓動

▼皆さんは「いのちのとりで裁判」をご存じでしょうか。日本全国で1025人、千葉でも12人の方が原告となっています。国は13年から3年間で、生活扶助基準(生活保護基準のうち生活費部分)を平均6.5%、最大10%引き下げました。年間削減額は670億円になります。裁判では、この引き下げが違憲・違法であると争っています。削減額のうち90億円は最低所得世帯下位10%の消費支出と生活保護を比較して調整したとされています。しかし、生活保護を利用する資格がある方のうち、実際に利用している方の割合が18%程度しかないにもかかわらず、生活保護の所得水準以下で生活しているであろうこれらの方を含む下位10%との比較は問題があると訴えています。▼削減額580億円は08年からの3年間で物価下落したのに合わせて生活扶助基準を下げたといっています。日本の物価指数は総務省が作成していますが、厚労省はこの数字を使わず、独自の計算方法で4.8%減とし総務省の2.4%減の倍近い数字を使い削減額を大きくしました。また、08年は前年から続く原油価格の高騰による物価が高騰した年で、この年を基準としたことも問題であると訴えています。▼生活保護は憲法25条を権利として具現化したものです。

(U)

2021年度 まとめ(案)

1. 会員、地域の健康を守る取り組み

・今年度の友の会健診の利用は、2017件でした。1人でも多くの方に友の会健診の利用をお勧めしています。地域に健康づくりを広げる活動、花見川区健康課と連携して「お口の健康について」2回目の公開講座を開催しました。口腔ケア、歯科検診の必要性、唾液の大切さを、実技を交え楽しく学び、普段気にしていないお口の大切さを知りました。

・健康相談は、ロコモチェックを友の会デーの中で6回実施、握力トレーニングは実技と合わせお知らせしました。

10月からは、看護師による血圧測定と相談ができました。

・「ふれあい喫茶」は1年休止していましたが、皆さんの笑顔を見たいと準備を進め、12月に顔合わせを16名参加でおこない、再開へ繋げることができました。



2. 助け合い、支えあうボランティア活動

・コロナ禍の中での活動は、できることを病院と相談して進めていきました。「病院を応援したい」「ボランティア活動ができてうれしい」という声にあらためてボランティアのみなさんに感謝をいたします。

・病院や診療所、事業所の消毒作業のための「清拭布づくり」は要望が多く、大変感謝されています。診療所友の会コーナーでは、「蔓延防止」の時期は中止をしましたが、再開するとたくさんの方に声をかけていただきました。また、コーナーで新入会やワクチン予約などの対応をしました。

・「花クラブ」の活動は、花の数を多くし季節ごとに患者さんや地域の方に大変喜ばれています。リハビリ中や、お散歩で足を止める方が多くいらっしやいました。



・たすけ愛の活動は、病院介助の依頼が多くありました。友ちゃん号の活用も始まり、新しい利用者も増えています。

・病院行事食やまくはりの郷、からたちの方に、おがみのプレゼントをしました。とても喜んでいただきました。

3. 社会保障を守る取り組み

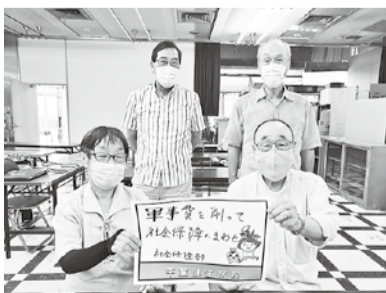
・75歳医療費2倍化・10月1日実施中止を求める署名は、診療所玄関、街頭での行動を計画しましたがコロナのためできませんでした。友の会だよりにより署名用紙を折り込み、協力をお願いしました。

・千葉市立新病院整備基本計画が1月発表されました。救急医療、高齢者医療、周産期・小児医療、感染医療など診療機能を強化し、診療科を8科増やし35科、病床は30床増の333床、2023年度工事着工としています。病院局との懇談に参加してきましたが、市民の期待に応えられる病院になるように取り組みました。

・公開講座「介護保険制度」を9月14日開催。講師は、あんしんケアセンター幕張所長・山口順子さん。制度発足から今日までの制度変革(改悪)をわかりやすく話されました。今後、ケアプラン作成費の自己負担、利用料の2割負担、要支援1～要介護2まで総合事業に移す改悪案を指摘しました。14名参加。

・第13回税金無料相談会を2月3日開催。19名相談。相談内容は、遺産相続、医療控除、書類作成等でした。岡沢税理士事務所の計らいで電話相談にも応じていただきました。

・コロナ禍のもとで高齢者大会はオンラインで参加。千葉市社保協の対市交渉は中止となりました。



4. 憲法と平和を守る取り組み

・ロシアが2月24日に開始したウクライナへの戦争行為は、絶対許されるものではありません。また、核兵器使用の威嚇までおこなっていることは言語道断です。戦争は絶対にダメです。唯一の戦争被爆国、憲法9条を持つ国会として、平和を求める全ての人々と連帯して運動してきました。

・わたしたちは平和を願い「憲法改悪を許さない全国署名」「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」「沖縄新基地建設反対署名」「原発ゼロめざす活動」などを取り組んできました。コロナ禍の中、活動は大幅に制約されましたが、友の会デー会場や駅前まで訴えてきました。



《友の会9条の会の取り組み》

・「平和ミニコンサート&戦争体験を聞くつどい」は、第27回(6月)「母に聞いた父の戦死と私の戦後」/島田武明さん、第28回(12月)「父・青木茂の被爆体験、核兵器禁止条約の経緯について」/青木幸男さんの戦争体験を聞きました。コンサートはソプラノとバリトンにピアノ演奏、特別企画・スペイン舞踊。コロナ禍の感染防止に配慮しながら、幕張公民館で例年通り2回開催しました。

・「ふれあい名画館」は、「野火」「地下水道」「自転車泥棒」など、戦争の悲惨、平和と9条の大切さ、映画の持つ力で訴え迫ってくる作品を上映しました。9条の会世話人で「ふれあい名画館」館長の沖山直樹さんが2月に亡くなりました。沖山さんの友の会9条の会にかけた熱い思いをつないでいきたいと思えます。

・友の会9条の会は2004年6月の「九条の会アピール」に応え、8月の「友の会幹事会」で結成を決め、弛みなく活動を継続し18年目に入りました。岸田改憲の動きが強まる中、友の会9条の会の持つ役割を確認し合いたいと思えます。



5. 会員と友の会をつなぐ 友の会だより

・「友の会だより」は、企画会議で意見を出し合い発行しています。健生病院理学療法士による「友ちゃん体操」や、研修医の先生による医療・健康情報はシリーズ化し、大変好評をいただいています。「友の会だよりが毎月届くのが楽しみ」「おうちにいる時間が増え、じっくり読んでいます」など嬉しい感想がたくさん届き、とても励まされています。クロスワードやまちがい探しの回数を増やし、多くの参加がありました。コロナ禍の中「友の会だより」を通して会員のみなさんと繋がりをますます深めました。

6. 「いつでも元気」誌の読者を増やそう

・コロナ禍で「いつでも元気」誌の問い合わせが多くありました。また、たくさんの頑張りで31部の読者が増えました。久しぶりに「いつでも元気お楽しみ寄席」を開催すると、「笑って元気が出たわ」と多くの方が参加し楽しまれていました。



ブロック・支部の活動

花見川Aブロック (JR幕張駅南側)



昨年度に続き高齢者会員に電話による御用聞き訪問を行い、大変喜ばれました。「幕張史跡巡り」を11月7人参加で実施。身近にいて知らなかったなど新しい発見もあり、晴天のもと楽しい1時間30分でした。友の会入会チラシを650枚配布し友の会と健生病院を宣伝しました。今年も切り絵の年賀状を会員さんに届けました。

2022年度の活動計画

コロナ収束を前提に班会、幕張駅健康相談会を開催し、昨年引き続き野外活動を企画します。また、ブロック会議を定着させ世話人を増やして楽しく活動します。

福祉会からたちブロック

班会は12月に「絵手紙班会」を開催しましたが、参加者は世話人に限りました。頑張る職場に絵手紙を送りました。10月にはハート鶴折り紙で利用者さんにメッセージを送りました。「からたち通信」を4回発行し、みなさんと交流しました。また、通信には利用者さんの「私の人生ものがたり」を連載してきました。それぞれの方の人生に感動・共感等がありました。来年にはまとめて冊子にしたいと思います。



まくはりの郷ブロック

2021年から健生友の会のブロックとして本格的な活動を開始しました。活動として「出来ることから」を合言葉に担当職員で取り組み、おやかに立てれば市への品物を集めに、毎回ポスターを作成し呼びかけました。会員の加入への活動は、会議で話し合いを行った結果10人の新加入があり「やれば形になる！」と取り組みが結果となりました。職員向けの学習会も4回行いました！細々ではありますが、計画を立てて行動することができた1年でした。

2022年度の活動計画

昨年に引き続き、健生友の会の活動に可能な限りで合流し、友の会の理解を進めることとともに、「楽しい。いいね。」と思える思考に変わる活動を考えていきます。



花見川Bブロック (JR幕張駅北側)

花見川Aブロックと共同で幕張地域の史跡巡りに取り組みました。会員拡大の取り組みとして、幕張駅北側の新興住宅地を中心に、友の会と千葉健生病院の紹介チラシを300セット配布しました。

2022年度の活動計画

花見川Bブロック担当幹事と相談して、会員相互の親睦を図る取り組みを計画します。友の会の各種活動に積極的に参加します。



花見川Cブロック (花園・朝日ヶ丘)

21年度は会員さん訪問を行いました。ハート鶴折りメッセージカードを準備して届けました。お会いしたことのない会員さんとも出会うきっかけとなり、地域を知る良い機会となりました。地域の方を班会にお誘いし、仲間を増やすことに力を入れていきます。



美浜Aブロック (幕張西・打瀬)

人との接触を極力避けなければならない状況下で班会を中止せざるを得ないこともある中、開催できた時は10人出席で楽しい会話に花が咲きました。10月の班会では清拭布づくりの後に「ハーバリウムマイボールペン」を、12月の班会では「クリスマスカラーのハーバリウム飾り」を作りました。同じ材料で作ってもそれぞれ個性が感じられる、素敵な作品ができあがりました。

2022年度の活動計画

ロシアのウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル発射、頻発する地震と心配事は尽きません。できる範囲で地道な活動を続けていきたいと思えます。



美浜Bブロック (真砂・磯辺・高洲・高浜)

会員・いつでも元気誌拡大「月間」の活動、「原爆と千葉空襲 美浜区写真展」の実行委員会に参加し、準備と当日3日間の運営に参加。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に取り組みました。高齢者電話訪問では、多くの方がコロナに負けずお元気で、会話が弾みました。月間では元気誌の読者が11人増え、会員は2世帯増えました。

2022年度の活動計画

「いつでも元気」誌読者会、お出かけ交流会、高齢者電話訪問、稲毛診療所友の会と共催の健康相談会、健康班会は毎年定番の活動です。コロナの状況を見ながら具体化していきます。



稲毛ブロック (小中台班)

新型コロナの感染拡大により会場の都合で、健康運動教室班会は1月から中止しました。3月26日の千葉市動物公園でのお花見から再開しました。料理教室は、未だ目途が立っていません。開催数は25回。延べ参加者数238名。使用する部屋の人数制限は少し緩和されましたが、予約が必要なのは変わりなく、一時は調整に苦慮しました。

いつでも元気読者が4名増えました。いつでも元気へのパズル解答はがきの投稿で当選者が4名、投稿採用1名ありました。コロナ禍の中で、新会員は増えにくい状況ですが、体力増強と交流の場として、地域の中で根を張ってきた1年でした。

2022年度の活動計画

小中台班は、今年で10年を迎えます。この地域で、小さいながら健康づくり運動を定着させてきました。今年は引き続き、最後まで前向きに元気で暮らせるよう、運動の種類も増やし、日常生活の中での運動を定着できるように、さらに工夫を凝らして楽しい会にしていきます。

月3回の運動を定着させます。春のお花見は恒例化していきます。訪問行動に1件でも足を踏み出したいと思います。

習志野ブロック

毎年の高齢者訪問は市内を二つに分けて訪問していました。しかし昨年は中止になってしまったので、今年はやってみようとグッズ作りから始めました。おもしろくて、みんなではまってしまい、あっという間に出来上がりました。38件訪問しました。いつもは「思ったより元気でした。」という感想が多いのですが、今年はちょっと違いました。悲しい別れもありました。入院中の方は、洗濯物を持っていくだけで、励ますこともできないと訴えていました。習志野おりがみは、ほぼ毎月行い病院行事食用を受け持ちました。一緒に活動する新しい世話人が増え、健康チェック、つどいなど計画し取り組んでいきます。

八千代ブロック

さわやかステーション近くの公園では、地域の方中心で毎日早朝の健康体操が行われています。みなさん高齢です。声をかけ仲間を誘って参加をしています。お役に立てれば市にお米を届けようという声かけがあり、友の会に届けました。青空健康チェックは、パルスオキシメーターを持っている方がいて、測りあっています。気を付けあって、前に進んでいます。



2022年度 方針(案)

1. 会員、地域の健康を守る取り組み

安心して住み続けられるまちをめざし、会員・家族の方、地域に、友の会だより等、あらゆる機会を通じて、健康づくりの情報を届けます。

- 1. 「年に1回は健康診断を受けましょう」を会員、地域の方に呼びかけます。
- 2. 地域に健康づくりを広げていきます
- 3. 健康の情報を地域へ届けます



2. 助け合い、支えあうボランティア活動

友の会のボランティア活動は、会員同士の助け合い、病院とのかかわり、地域とのかかわりの中で活動しています。病院と情報を共有し、ボランティア活動を広げていきます。

- 1. 交流や学びの場を増やし、新しいボランティアの参加が増えるよう力を入れていきます
- 2. 各ボランティア活動が楽しく行えるように、利用しやすい工夫をしていきます

3. 社会保障を守る取り組み

コロナ禍のもとで医療が崩壊し3万人を超える命が失われています。国民の命を守るのは国の責任です(憲法第25条)。国が責任を果たすよう社会保障制度の充実に取り組みます。

- 1. 全世代型社会保障改革、公的病院の統廃合、20万病床削減に反対します。また、千葉市新病院の機能充実に取り組みます
- 2. 医療、介護、税金など公開講座、学習会を企画します
- 3. 千葉市、習志野市社会保障推進協議会の活動を取り組みます
また、高齢者大会、自治体学校、消費者大会、全国集会に参加します

4. 憲法と平和を守る取り組み

私たちは、多くの方々と力を尽くして、平和の運動を進めていきます。

- 1. 岸田政権の九条改憲を阻止し、憲法が生きる社会を。沖縄辺野古新基地建設を許さない運動を進めます
- 2. 被爆から77年、人類の死活問題となっている核兵器廃絶に向け「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を活動の中心に据えます。原水禁世界大会、日本平和大会、3・1ビキニデー集会などに参加します。原発ゼロをめざす活動や環境問題・地球温暖化対策への取り組みをすすめます
- 3. 学習会、講演会、映画上映会、平和施設見学・学習などに取り組み、憲法と平和について「学びの場」をすすめます

《友の会9条の会の取り組み》

岸田政権が改憲を迫る中、7月の参議院選挙の結果は日本の前途を左右するものとなるでしょう。改憲を許さない参議院の議席の獲得へ、九条を守り生かす声を広げることが急がれます。コロナ禍の中で、宣伝、署名など工夫して取り組みます。

5. 会員と友の会をつなぐ 友の会だより

2022年6月から、発行日を毎月20日から毎月1日に変更します。「友の会だよりが楽しみ」という声をたくさんいただいています。会員のみなさんへ病院の情報や健康づくり、友の会の活動、お楽しみなど広くお伝えいたします。

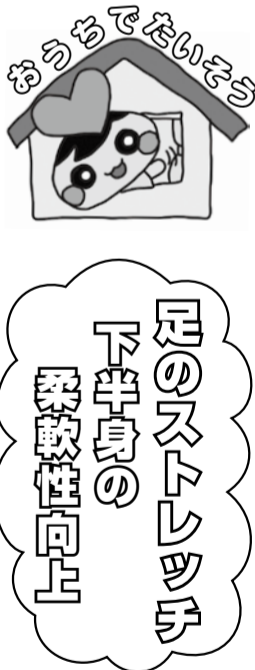
- 1. 親しみやすい「友の会だより」を発行します
- 2. お楽しみ企画や、参加できる企画など工夫します
- 3. 病院や健康に関する情報、活動などわかりやすくお届けします
- 4. 会員のみなさんの声に耳を傾け、繋がりを大切にしています

6. 「いつでも元気」誌の読者を増やそう

- 1. たくさんの方に手に取っていただく工夫をしていきます
- 2. 読者参加企画へのお誘いをすすめます
- 3. さまざまな行事の中で見本誌を活用し、広く声をかけていきます
- 4. 販売所、世話人を増やし、読者会や交流会を開きます



●ふくらはぎのストレッチ
(ふくらはぎの血流を良くし、足首を柔らかくします)
片ヒザをピンと伸ばして足首をしっかりと手前に立てたまま、20数えます
反対側も同様に行います
左右20カウント、2セットずつ行いましょう



Dr. 岡田のひとり言 5月9日

コロナでよかったこと

そんなことあるわけない
だろ！お前、なんていうこと
言うんだと怒らないでく
ださい。コロナコロナでし
たいこともできず、人とも
会えず、自分や家族が罹患
してしまったり、かかる不
安で毎日が楽しくないって
いう方も多いかと思えます。
病院の職員でももたらつて
しまう人もいて、病院機能
の維持に特別な努力が必要
です。いくら感染対策をや
つていても外からもらつて
しまった家族から家庭内
感染とか。私も発熱外来担
当の時は、自分がもらわな
いようにとか、家を持って
帰らないようにとか細心の
注意で臨みます。
ところで、実はいまWe
b会議中。内緒ですがこの
原稿書いています。内職と
も言います。昔はパソコン
でつながって画像と音声で
会議なんて夢のような話で
したが、今はそれが一般的
これが唯一コロナになって
良かったことでしょうか。
移動しなくて済みますし、
Webでつながって、会議
とか遠いところの友達との
飲み会とか楽しん。時空を
節約できる感じですよ。

7月の参議院選挙で、改憲に積極的な自民党・公明党・日本維新の会に、改憲審議に協力的な国民民主党が議席を伸ばすようなことになれば、自衛隊は「戦争できる軍隊」と変えられるでしょう。

改憲され戦争が優先されたら、香港やロシアのように自由が無くなる世界が当たり前のようになってきます。

まだ間に合う。この日本で瞳のように大切な「日本国憲法」を守り抜いて、憲法を活かした日本に舵を切りましょう。

あなたの手で平和な未来を選びとりましょう。
暑い夏に寄せて。

憲法大好き
9条大好き

看護師 柴田 せつ子

世論調査で「憲法変えて欲しい。」は、3%程度なのに社会保障まで削って軍事費調達に邁進しています。

その波は、海浜病院存続の危機として4年前現れ、健生病院友の会も市民と一丸となつてはね除けました。が日本中で急性期病床を減らす動きが止まりません。

自民党は、ロシアのウクライナ侵略に乗じて、敵基地攻撃能力と称して、攻撃される前に攻撃してしまう体制作りに必死です。

「敵基地攻撃」では評判が悪いとみるや「反撃能力」と変えて世論を気にしています。

新入職員紹介



なまえ
 院所、事業所
 職種
 ①出身地
 ②趣味やはまっていることは、なんですか?
 ③あなたの目標を教えてください!



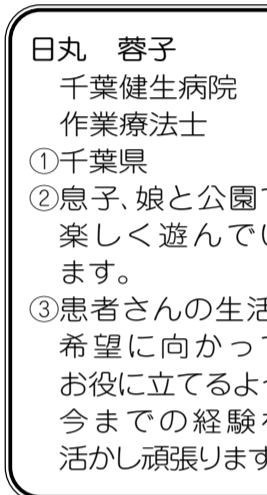
鈴木 港仁
 千葉健生病院
 病棟看護師
 ①秋田県
 ②筋トレ、アニメ鑑賞
 ③頼りがいのある看護師になること。



武井 理沙
 千葉健生病院
 病棟看護師
 ①千葉県
 ②すみっこぐらしのグッズ集め
 ③患者さん一人ひとりに寄り添える看護師になりたいです。



則武 有里
 共同薬局
 薬剤師
 ①千葉県
 ②音楽を聴くこと
 ③相談したいと思ってもらえるような薬剤師になりたいです。



日丸 蓉子
 千葉健生病院
 作業療法士
 ①千葉県
 ②息子、娘と公園で楽しく遊んでいます。
 ③患者さんの生活、希望に向かってお役に立てるよう今までの経験を活かし頑張ります。



都甲 綾乃 (Aino Tomikida)
 千葉健生病院
 理学療法士
 ①東京都
 ②サスペンドラマ
 ③患者さんたちの「できるようになりたい」を尊重して実現に向けてサポートしていけるPTになること。



下村 紗緒里
 まくはりの郷
 管理栄養士
 ①東京都
 ②DIY
 ③楽しく・安全な食事を提供できる管理栄養士になりたいです。



千葉 夕起子
 まくはりの郷
 デイケア介護
 ①千葉県
 ②最近購入した車で、休日ドライブを楽しんでいます。
 ③来年度の介護福祉士国家試験に合格することです。



福原 海
 まくはり診療所
 事務
 ①熊本県
 ②映画鑑賞
 ③1日でも早くみなさんのサポートができるように頑張ります。

どうなる? 新海浜病院

学習会に参加して

南雲 一吉

今度の新しい海浜病院はどの様になるのだろうか? と多くの市民が目まぐるしく注目しているところだ。4月4日、友の会大会議室にて「学習会・どうなる? 新海浜病院」が、千葉健生病院グループ三者協(友の会・病院・労働組合)の主催で開催されました。講師は千葉市議会議員中村きみえさんです。

新病院の基本方針は

- (1) 患者に信頼される病院
- (2) 胎児から高齢者まで切れ目のない医療の提供
- (3) 救急医療の強化
- (4) 災害医療の強化
- (5) がん診療体制の強化
- (6) 感染対策の強化

が項目として挙げられており、現在の医療内容と比較して、小児、救急、感染症対策、整形外科、脳外科などが強化されるとしています。

新病院を建設するにあたり

各地の経験がいくつか報告され、その成果と課題を指摘されました。新海浜病院建設では、市民の声を聴き、市民と共に病院をつくる姿勢が重要ではないかと訴えました。

また、病院までの交通手段の確保は重要なテーマであり、具体化までにいろいろなお話し合いが必要になっていきます。

青葉病院では小児・周産期医療が新海浜病院に統合されるため、地域の医療要

求にどう応えていくのかも課題になっていきます。

時間の関係で質問が3件で打ち切りになりましたが、千葉市から出された「基本計画」では、まだ漠然とした内容にとどまり、更なる追加資料が待たれます。

千葉県は人口比で全国最下位クラスの医師、看護師数で、医師や看護師などの技術者確保のように進めていくのか。総事業費が283億円と1床当たりの単価が相場より高く、今後の病院経営に重荷になっていかないか。病院の収支計画に明確な根拠が示されず、不採算部門を抱えざるを得ない公立病院として、どこまで市民の税金を投入していくのか、注目していかなくてはなりません。

これからも病院局職員を招いての説明会や独自の学習会も開催してまいります。多くの方のご参加をお待ちしています。

千葉市出前講座

『新病院の整備について』
 7月12日(火) 13:00~
 友の会大会議室にて

スマートフォン

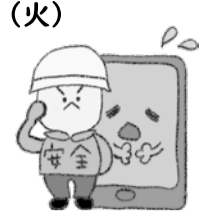
あなたは安全に使えていますか？

日時：2022年4月5日(火)
13:30~

場所：友の会大会議室

費用：無料

講師：健康スマホ・パソコンサークル
西田 賢二 先生



4月5日、スマホ安全講座が25名の参加で開かれました。



講座でのポイントは6つでした。まず、スマホが遭遇する可能性のあるリスク、第2に「検索の落とし穴」、第3は「ショートメッセージでのトラブル」、第4は「アプリはストーカー?」、第5に「キャリア決済」、そ

して最後に詐欺警告画面に対する「安全対処訓練」の実習を行いました。

スマホでの金銭上の安全を確認するには、毎月のスマホ経費が適正に引き落とされているか預金通帳など

を確認することが大切ですが、半数以上の方が確認をされていませんでした。

検索では、検索結果で最初に表示されるのは広告なのですが、怪しい広告に釣られてしまう危険があります。

ショートメッセージで騙されてしまうと、ウイルスに感染させられたり、勝手に買い物を買われてしまう事例が紹介されました。

「電池長持ち」を売りにしているアプリが、カメラで勝手に顔写真を撮ったり、位置情報を取得するストーカーのようなアプリであることを実例でみました。

キャリア決済で不正利用されてしまうと、被害者なのに泣き寝入りしかない状況に追い込まれることがあります。

実習では、詐欺警告画面に対して警告画面を安全に終了する手順を学びました。

なお、スマホの機種により操作手順が多様であるため、複数のサポーターが必要でした。

長引くコロナ下での健康維持は

佐原 生世

突然の出来事に啞然とした。

夕食の食事中に、周りが回っている、体が揺れている。脱力、何、コレ? 「私、揺れている」「脳卒中? 脳梗塞?」指は? グウ、チョコ、パー、1ぼん、2本、3本、4本、5本、指は大

丈夫。口は、まみむめも、ばびぶべぼ、ばびぶべぼ、舌は、らりるれろ、大丈夫だ。意識はしっかりしている。吐き気がしてトイレへ、

足に力が入らず立てず、右へ、左へまるで小舟に乗っている感じで座り込んでしまった。歩けない。四つん這いでトイレへ、間に合い

そうもないので、洗面器を用意してもらい嘔吐した。

後日、年齢的にもと思い、脳神経外科での受診。血圧が高かったため、内科で受診すると、自宅での二週間、朝夕の定時に血圧を測定し記録することに。

記録した手帳を持参し、診察を受ける予定に。現在毎日血圧測定実践中!

しおじ

その間に、休みで家にいた長男が病院に私の症状の問い合わせを!

「意識がしっかりしていない、めまいと、嘔吐なら、明日、耳鼻科を受診、午後からの診療受付」とのこと。少し気持ちが落ち着く。熱も平熱。水、エチケット袋、懐中電灯を用意してくれた。一晩中のめまいと嘔吐は初めての経験。わが身のこととは思えない。耳鼻科で、聴力、平衡機能検査など、異常なし!

写真館

ぼたん 牡丹 古澤祐子 (事務局)



4月18日 まくはり診療所・東側花壇

マーロン 7歳 オス 松岡和美 (四街道)



気に入らないと、怒ります!

| 活動名 | 日時 | 会場 |
|--------------|-------------------|-------------|
| アジアの歴史を学ぶ会 | 6/27(月) 10:00~ | 友の会2階 |
| 囲碁 | 6/6・20(月) 9:00~ | 友の会2階 |
| うたごえ(こまどり) | 6/9・23(木) 13:30~ | 友の会大会議室 |
| 絵手紙 | 6/17(金) 13:30~ | 友の会大会議室 |
| おりがみ(習志野) | 6/13(月) 10:00~ | 津田沼サンロード研修室 |
| おりがみ(友の会) | 6/9(木) 13:30~ | 友の会事務所 |
| 切り絵(きりえもん) | 6/8(水) 13:30~ | 友の会大会議室 |
| 高齢者体操(ストレッチ) | 6/13・27(月) 14:00~ | 友の会大会議室 |
| そばうち | 6/16(木) 9:00~ | 友の会大会議室 |
| 大正琴(琴の音) | 6/18(土) 10:00~ | 友の会大会議室 |
| 中国語教室 | 毎週水曜日 10:00~ | 友の会大会議室 |
| 健康スマホ・パソコン | 6/10・24(金) 14:00~ | 友の会大会議室 |
| 朗読の会(いっぽの会) | 6/3・17(金) 14:00~ | 幕張公民館 |

新型コロナウイルス感染状況によって、変更もあります。

ふれあい名画館
6月16日(木) 13時30分~
シアター友の会(友の会大会議室)

いおうじま
「硫黄島からの手紙」
監督：クリント・イーストウッド
出演：渡辺謙、二宮和也
戦跡・硫黄島の地下壕から
数百通の手紙が発見された...
製作はアメリカ。
2006年 上映時間 141分

友の会デー
(バザー)
6月30日(土) 10時~11時
友の会前駐車場
(雨天中止)



つれづれなるままに
御茶ノ水駅から下って、駿河台下の交差点のすぐ近くに三省堂書店があった。スペースは、?。発行部数は、?。生徒数は、これは答えることができた。肝心なことが?なのに、本と



書類が山積みデスクの前の女性はやさしかった。よく取れたね。参考書の広告原稿を見た部長がほめてくれた。高1の春、クラスメイトと二人、入った新聞部で初めての仕事だった。次は松竹歌劇団のレビューや映画を上映していた浅草国際劇場へ。掲載実績があり、Q&Aなしで即決。広

告料はチケットと聞いたが二人には回ってこなかった。新聞づくりに興味があったのに広告部?、怒が芽生え、半年で二人は退部した。あれから66年。「友の会だより」の校正などを手伝い始めて15年、今さらながらの新発見。広告(欄)がない。広告取りもない。
編集部 鈴木春夫